

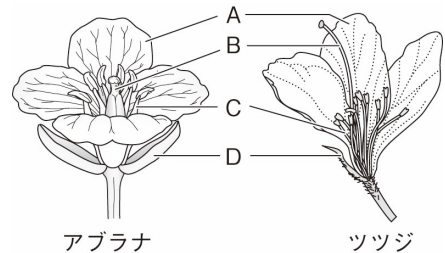
## 章末評価問題

植物のくらしとなかま

### 1章 花のつくりとはたらき

【1】 アブラナの花とツツジの花のつくりを比べながら観察した。これについて、次の問いに答えなさい。

1. A～Dは、両方の花に共通したつくりである。  
これらの名前を答えなさい。
2. アブラナとツツジのおしべの数は、それぞれ何本あるか。
3. アブラナとツツジのめしべの数は、それぞれ何本あるか。



4. アブラナとツツジの花について、正しく説明しているものを、次のア～エから1つ選びなさい。

ア. アブラナは花弁が1枚1枚離れている離弁花であり、ツツジは花弁がたがいにくっついている合弁花である。

イ. アブラナは花弁がたがいにくっついている合弁花であり、ツツジは花弁が1枚1枚離れている離弁花である。

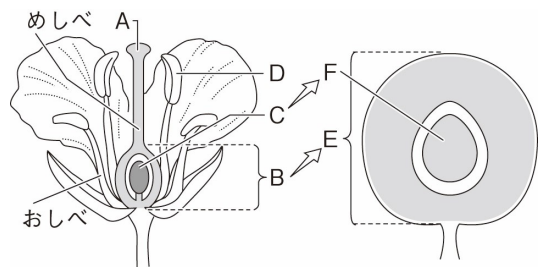
ウ. アブラナもツツジも、花弁が1枚1枚離れている離弁花である。

エ. アブラナもツツジも、花弁がたがいにくっついている合弁花である。

5. 4の観点で、アブラナの花弁と同じ種類の花を、次のア～エから1つ選びなさい。

ア. アサガオ    イ. タンポポ    ウ. エンドウ    エ. カボチャ

【2】 右の図は、ある花の断面と、花の変化を模式的に表したものである。これについて、次の問いに答えなさい。



1. めしべについて、次の各問いに答えなさい。

- ① めしべの先の部分Aを何というか。
- ② ①のAの部分は、ねばりけをもつなどの特徴がある。そのようなつくりである理由を簡単に説明しなさい。
- ③ めしべの根もとのふくらんだ部分Bを何というか。
- ④ ③のBの部分の中には小さな粒状のものCが入っている。これを何というか。

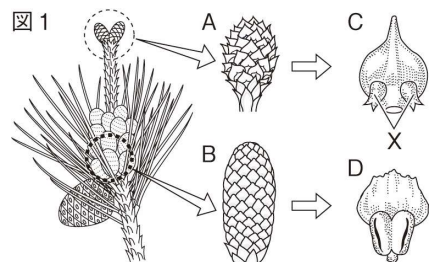
2. おしべについて、次の各問いに答えなさい。

- ① おしべの先の小さな袋Dを何というか。
- ② ①の袋の中に入っているものは何か。

3. 図のような植物の受粉後の変化について、次の各問いに答えなさい。

- ① Bは成長してEになる。Eを何というか。
- ② Bの中にあるCはFになる。Fを何というか。

【3】 図1のA, Bは、マツの花を表したものであり、C, DはそれぞれA, Bからはがしたりん片である。これについて、次の問いに答えなさい。

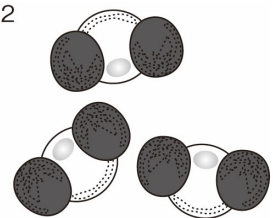


1. 図1のA, Bはそれぞれ何か。名前を答えなさい。

2. 図1のりん片CのXの説明として、正しいものをア～エから1つ選びなさい。

- ア. Xは花粉のうである。      イ. Xは胚珠である。  
ウ. Xは子房である。      エ. Xは種子である。

3. 図2はマツの花粉を表したものである。マツの花粉が図のような形をしている理由を、簡単に答えなさい。

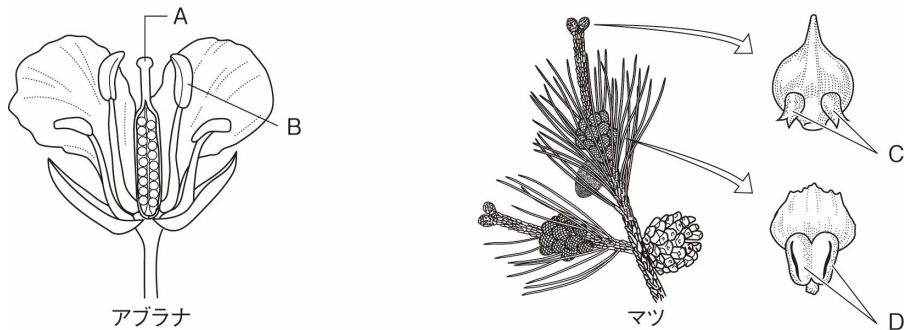


4. マツのような植物のなかまを裸子植物という。裸子植物の特徴を「子房」、「胚珠」という言葉を使って、簡単に答えなさい。

5. 裸子植物のなかまとしてあてはまらないものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア. スギ      イ. イチョウ      ウ. ソテツ      エ. イネ

【4】 アブラナとマツの花のつくりを比べた。図1はアブラナの花の断面のようす，図2はマツの花とりん片を表したものである。これについて，次の問いに答えなさい。



1. アブラナとマツの花粉について，次の各問いに答えなさい。

① 花粉がつくられる部分はどこか。次のア～エから1つ選びなさい。

ア. アブラナはAで，マツはCである。

イ. アブラナはAで，マツはDである。

ウ. アブラナはBで，マツはCである。

エ. アブラナはBで，マツはDである。

② マツの花粉は，何というところに入っているか。その名前を答えなさい。

③ アブラナやマツの花粉は，おもに何によって運ばれるか。次のア～エからそれぞれ1つ選びなさい。

ア. 風    イ. ヒト    ウ. 昆虫    エ. 水

2. 受粉が行われた後，アブラナは果実ができるのに対し，マツには果実ができない。その理由を簡単に答えなさい。

3. アブラナもマツも種子植物のなかまである。種子植物とはどのような植物か。簡単に説明しなさい。

年	組	番	名前
---	---	---	----

【1】

1	A		B	
	C		D	
2	アブラナ		ツツジ	
3	アブラナ		ツツジ	
4			5	

【2】

1	①	
	②	
	③	④
2	①	②
3	①	②

【3】

1	A	B
2		
3		
4		
5		

【4】

1	①	②
	③ アブラナ	マツ
2		
3		

**章末評価問題**  
(解答と解説)

植物のくらしとなかま  
**1章 花のつくりとはたらき**

**【1】**

**解答**

1. A…花弁      B…めしべ      C…おしべ      D…がく
2. アブラナ…6本      ツツジ…10本
3. アブラナ…1本      ツツジ…1本
4. ア
5. ウ

**解説**

2. アブラナのおしべは、長いものが4本、短いものが2本ある。
3. 植物のめしべは、中心に1本ある。
5. タンポポは、5枚の花弁がくっついて1つの花をつくり、それらが集合して1つの花のように見える。

**【2】**

**解答**

1. ① 柱頭      ② 花粉をつきやすくするため。      ③ 子房      ④ 胚珠
2. ① やく      ② 花粉
3. ① 果実      ② 種子

**解説**

2. おしべのやくの中の花粉が入っている。これがめしべの柱頭につくことを受粉という。
3. 受粉後にできた果実は、動物に食べられたりして、種子が遠くまで運ばれ、その後、発芽した種子によって、生命が受けつがれている。

**【3】**

**解答**

1. A…雌花      B…雄花
2. イ
3. 風に飛ばされやすくするため。
4. 子房がなく胚珠がむき出しになっている。
5. エ

**解説**

2. Cは雌花のりん片で、Xの部分は、むき出しになった胚珠である。
3. マツの花粉は、遠くまで飛ばされやすくなるように、空気袋がついている。

**【4】****解答**

1. ① エ      ② 花粉のう      ③ アブラナ…ウ      マツ…ア
2. マツは裸子植物で、子房がないから。
3. 花を咲かせ、種子で子孫をふやす植物。

**解説**

1. ③ アブラナの花は昆虫を引きつけるために、美しい色の花弁をもち、みつを出す。マツの花粉は、風に飛ばされやすいように空気袋がついている。
2. 被子植物は受粉後、子房が果実になり、胚珠が種子になる。